

## 有毒植物の誤食に注意しましょう

「山菜採り」のシーズンを迎えました。例年、山菜と間違えてハシリドコロやトリカブト、バイケイソウなどの有毒植物を食べたことによる食中毒が発生しています。

山菜採りを楽しむために、以下の3つのポイントに注意してください。

### 有毒植物による食中毒防止のポイント

よくわからない植物は、絶対に「採らない、食べない、人にあげない。」

(新芽や根だけで、種類を見分けることは困難です。)

専門家の指導等により、山菜の正しい知識及び類似する有毒植物との鑑別法をマスターしましょう。

身近な植物でも、スイセン、スズラン、フクジュソウ、レンゲツツジなど、有毒成分を含むものがあります。食べたことのない植物を、むやみに食べることはやめましょう。

- ・ もし、中毒だと思ったら、すぐに医師の診断を受けましょう。食べたものが残っている場合は、受診の際、持参してください。
- ・ 長野県では薬草(山野草)に関する知識の豊富な方を「薬草指導員」として登録しています。山菜や野草の種類、鑑別方法について詳しく知りたい場合は、指導員に相談してください。「薬草指導員」については、最寄りの保健福祉事務所(保健所)へお尋ねください。

**【参考資料】**

**長野県内の有毒植物による食中毒発生状況（昭和 51 年～平成 21 年）**

県内の有毒植物による食中毒は、昭和 51 年から平成 21 年までの間に 14 件（患者数 47 名）発生しています。その内訳は下表のとおり、「ハシリドコロ」が 4 件（患者数 9 名）、「トリカブト」が 3 件（患者数 16 名）、「バイケイソウ、コバイケイソウ」が 3 件（患者数 10 名）、「チョウセンアサガオ」が 2 件（患者数 7 名）、「シュロソウ」が 1 件（患者数 2 名）及び「マムシグサ」が 1 件（患者数 3 名）で、いずれも食べられる山菜だと思い、これらの有毒植物を食べたことにより発生しています。

原因となった有毒植物の種類	食中毒発生件数	発生年	患者数	死者数	症 状	間違えやすい山菜
ハシリドコロ	4	S63,H6, H8,H11	9	0	おう吐、下痢、血便、 幻覚、目まい	フキノトウ、 オオバギボウシの新芽
トリカブト	3	S58,S63, H13	16	0	おう吐、下痢、 手足や指の麻痺	ニリンソウ、モミジガサ、 ヨモギの若芽
バイケイソウ、 コバイケイソウ	3	H2,H5 H17	10	0	おう吐、下痢、 血圧降下、痙攣	オオバギボウシ(ギボウシ) ギョウジャニンニク
チョウセン アサガオ	2	S52,H15	7	0	口の渇き、瞳孔散大、 意識混濁、頻脈	ゴボウ
シュロソウ	1	H14	2	0	おう吐、歩行困難	オオバギボウシ
マムシグサ	1	H20	3	0	舌のしびれ、喉の傷み	
合 計	14		47	0		

代表的な山菜と有毒植物の鑑別方法は県ホームページの下記アドレスを参考にしてください。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/eisei/yakumu/yudoku/yudoku.htm>

（間違えやすい植物の例）

バイケイソウ(コバイケイソウ)(毒草)

ギボウシ



注) H17 年に、長野県内で食中毒が発生したバイケイソウ(コバイケイソウ)(写真左)及びそれと間違えやすい山菜のギボウシ(写真右)です。新芽のうちはよく似ていて見分けが困難なため注意しましょう。

健康福祉部 食品・生活衛生課 食品衛生係  
 (課長)小林 明彦 (担当)高木 正明 藤井 まや  
 電話:026-235-7155(直通)  
 026-232-0111(内線 2657)  
 FAX:026-232-7288  
 E-mail:shokusei@pref.nagano.lg.jp

健康福祉部 薬事管理課 麻薬毒劇物係  
 (課長)丸山 洋 (担当)西村 孝  
 電話:026-235-7159(直通)  
 026-232-0111(内線 2676)  
 FAX:026-235-7398  
 E-mail:yakuji@pref.nagano.lg.jp